

(別紙5)

整理番号 2020P-132

補助事業名 2020年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業

補助事業者名 一般社団法人 日本自閉症協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自閉症スペクトラム（以下ASD）の方は、障害特性が原因となり、日常生活において困難な出来事に直面することがある。例えば予定していない出来事に遭遇した際に、不安が高まることや視覚優位のため他者との会話でのコミュニケーションをうまくとれないこと、特有のこだわりのため、周囲から冷たい視線を浴びてしまうことがある。また知的障害を伴う方もおり、発語が困難なケースや身辺自立ができず他の人のサポートが必要な方もいる。このような多種多様な障害特性のため、ASDの方やその家族は、周囲の無理解も重なり、地域生活で孤立してしまい、日常生活を安心して送ることができないことが現状としてある。

本事業では、ASDの人やその家族がASDに関する諸情報を獲得する場を提供し、当事者同士や親同士、あるいは医師や教師等の支援の専門家の助言・協力を受けながら、ASDの本人の対人コミュニケーションスキル等の社会的スキルの向上や地域の協力者を増やして相互に協力し合い、地域生活を安心して過ごせるような社会を創ることを目的として実施する。

(2) 実施内容

ASDの人の地域生活を豊かにする学習相談事業

(URL) <http://www.autism.or.jp/report05/keirin/2020jka.pdf>



ASDの人やその家族・支援者等を対象とした学習相談会を全国4か所で実施した。本事業では当初会場での集合型の会議を予定していたが、新型コロナウイルス蔓延の影響を受け、感染予防の観点から、参加人数の制限やオンライン型での開催とした。学習相談会は医師や教

(別紙5)

師・福祉関係者等の講演会と、個別相談や情報交換を行う相談会（茶話会）等の2本立てを基本とし、ASDに関する制度や理解が地域によっても様々であることから、開催地の自閉症協会内で地域の実情やニーズを検討した上でテーマ設定を行い、そのテーマに沿った講師を選定した。前半の講演会では、テーマに沿って講演会を行い、後半の相談会で講師への質疑応答や参加者同士での意見交換等を行い、参加者はASDに関する理解を深めた。

ASDの子どもと家族のための集団指導キャンプ事業

(URL) <http://www.autism.or.jp/report05/keirin/2020jka.pdf>



ASDの子どもとその家族を対象とした宿泊型の集団指導キャンプ事業を行った。新型コロナウイルスの影響を受け、感染予防に十二分に配慮し参加人数を制限しソーシャルディスタンス等にも気を付けた上で実施した。集団指導キャンプでは、医師や教師等の福祉の専門家の指導の下、ASDの子どもは療育プログラムに取り組み、ASDの特性として不得意としている対人コミュニケーション能力や集団生活への適応等の社会的スキルの向上を図る。また、親は子どもが療育プログラムに取り組んでいる間に、同じ参加者同士で地域の制度に関する情報や子育てについての情報交換を行い、子どもに対しての接し方等を再確認する。子どもが寝静まったあとは、福祉の専門家の講師による講演会を開催し、テーマに沿った内容でASDの理解を深めるとともに、参加者同士での意見交換を行う。また、参加者同士や支援者との協力体制を作り、ASDの子どもやその家族が地域で孤立せず、安心して過ごせるようにすることを目的として実施した。

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

ASDの人の地域生活を豊かにする学習相談事業

アンケート結果より、ASDの人や家族にとっては、地域の情報を獲得し、日常生活に活かしていくことのできる情報を提供した。また、将来に向けて今から考えておくべきことが明確となりASDの人や家族の不安感の軽減につながり、今後ASDの人が社会に参加していくための足掛かりとなることが見込まれる。参加者の中には、教師や民生委員、福祉関係者等の支援者もあり、ASDについて支援者に正しい理解を促すことができ、今後ASDの人やその家族が地域で生活していく上で必要な理解者を増やすことができたことも実施効果として挙げられる。

ASDの子どもと家族のための集団指導キャンプ事業

ASDの子どもが障害特性のため不得意としている集団行動や対人コミュニケーション等の社会的スキルの向上を図ることができた。参加者とともに集団生活を送ることで、時間やスケジュールに沿った行動や、親以外の人とのコミュニケーションをとることができ、今後社会生活を送る上で必要なスキルの向上につながった。

一方で親はほかの参加者との交流の中で、子どもへの接し方について意見交換の中で見直すことができた。また、地域の制度や理解のある学校・作業所等の情報も得ることができ、日常生活において有益となる情報を獲得する場となった。集団指導キャンプ後に親同士で気軽に意見交換を行うことができるようになったことも実施効果として挙げられ、地域で孤立することを防ぎ、ASDの人の安心した生活につなげていくことができると考える。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

特になし。

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

特になし。

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人日本自閉症協会

(イッパンシャダンハウジンニホンジヘイショウキョウカイ)

住 所： 〒104-0044

東京都中央区明石町6-22 築地ニッコンビル6F

代 表 者： 会長 市川宏伸 (イチカワヒロノブ)

担 当 部 署： 日本自閉症協会 事務局 (ニホンジヘイショウキョウカイジムキョク)

担 当 者 名： 陳野 功 (ジンノ コウ)

電 話 番 号： 03-3545-3380

F A X： 03-3545-3381

E - m a i l： asj@autism.or.jp

U R L： <http://www.autism.or.jp/>